

令和4年度第3回「知事と一緒に生き生きトーク」発言要旨

- 1 テーマ：ポストコロナ時代 将来的な移住・定住につながる二地域居住者等と地域との関わり方
- 2 日時：令和4年10月14日（金） 15:00～16:30
- 3 場所：シェアアトリエ海の校舎（笠岡市大島中 2553）
- 4 参加者：二地域居住者や受入地域側として関係人口等との関わりに取り組んでいる方など 5名

5 知事挨拶

二地域居住を实践されたり、日頃から受入側として活動をされたりしている皆様から、移住者や関係人口となる方たちを楽しく迎え、県外の方が岡山と関わりを持っていただくために必要な取組やアイデアなどについてお聞きしたい。

6 発言内容等

【自己紹介】

- ・グラフィックデザイナーをしながら、東京と岡山で二地域居住を实践している。笠岡市出身で、大学進学を機に東京へ出て事務所を起ち上げたが、ふるさととのつながりを持ち続けたいと思うようになり、岡山でも仕事を探していたところ、シェアアトリエ海の校舎にも事務所を構えることになった。今では家族と一緒に、月に10日間ほど笠岡市に滞在し、こちらでもデザインの仕事を手がけている。
- ・出身は大阪で商社に勤務していたが、10年ほど前に笠岡市へ移住して家具工房を開いた。移住のきっかけは、結婚して子どもができ、家族と過ごす時間を見直したこと。大島東小学校が廃校になるという話を聞いたときに、海が一望できる素晴らしい環境にある建物を活用したいと思い、地域の人や市の協力を得ながらシェアアトリエ海の校舎を起ち上げた。
- ・笠岡市大島地区のまちづくり協議会会長を務めている。地区の高齢者や子ども向けのサロン、大学生とコラボした地元食材を使った「大島バーガー」の開発・販売などの活動をしている。移住してきた人がうまく地域に馴染み、気持ちよく入って来てもらえる地域にしていきたい。
- ・倉敷市児島を拠点に、デニムアパレルブランドと宿の経営を兄弟でしている。兵庫県出身で、岡山のデニム産業の情報発信に取り組んだことをきっかけに、自分たちでもデニムの販売を始めた。今は児島の宿を拠点に、自分たちが受け入れる側として地域外から来る人を迎え、来てくれた人に地域の産業の魅力を知ってもらいたいと思っている。
- ・2020年に東京から高梁市へ移住した。古民家を購入してリノベーションし、地域の交流拠点として再生しようとしている。また、教育系ベンチャー企業で働いていた経験を生かして、市内の小中学校や高校、大学などで教育×DX、ICT支援に取り組んでいる。

【経験や活動を通しての気付き】

- ・岡山にいるときに町づくりのイベントなどに関わらせてもらったことで、定期的に帰ってくるきっかけになった。二地域居住をするなら、出張のような感覚ではなく、岡山でもしっかり仕事を持って、こちらに来る目標や目的を、移住や二地

域居住を考えている人自身がしっかり持つことが大切だと感じた。

- ・移住してきて、一番魅力的だったのは子育て環境。都会の暮らしは便利だが忙しかった。笠岡では、子どもと一緒に地域の人に温かく迎え入れてもらい、子育てのサポートもしてもらってとても助かった。
- ・以前は地域のお祭りやイベントなどで地元のグルメや野菜、お米などを販売し、市外や県外からもたくさん人が来るきっかけになり、賑わっていた。喜んでくれるお客さんの姿を見ると、地域の高齢者も元気になる。コロナ禍でできていない催しも多いが、徐々に復活させていきたい。
- ・宿に来てくれる県外の方は、児島の豊かな自然や迎えてくれる人の温かさに魅力を感じており、実際に二地域居住や移住につながった人も数組知っている。やはり岡山の家や山などの自然は魅力的なのだと思う。ただ、地方では光回線が通っていない地域もあり、テレワークで二地域居住やワーケーションをする人からは通信環境の弱さがネックになるという声もあり、課題だと感じている。
- ・若い人や移住者が地域とつながるためには、周囲の都合を押しつけるのではなく、本人が「やりたい」と思ったことに主体性を持って取り組めるよう、地域側もサポートすることが大事。また、外から来た人材と受入地域のミスマッチを防ぎ、上手く噛み合うことができるように、両者の仲介役を担う人材や組織が必要だと思う。

【移住・二地域居住等を促進するための提言】

- ・移住や二地域居住で地域に入っていくときに、仕事や暮らしのことなど何でも相談できる人が地域にいると心強い。町のコーディネーターのような人材がそれぞれの地域に必要なと思う。
- ・移住してきたときは、最初はわからないことだらけだったが、市役所や地域の人に助けていただいた。今は、海の校舎を魅力的な場所にしていき、県外から来た人にも仕事場として使ってもらえるようになればと思っている。地域に空き家もたくさんあるので、そうした物件の活用にも取り組み、笠岡に住む人が増えてほしい。
- ・海の校舎の方たちをはじめ、地域で様々な取組をしている方たちと地域を盛り上げていけるようにこれからも頑張っていきたい。
- ・県外からも地元産業の担い手として若い人が来てくれるが、コミュニティに馴染めずに定着しないという状況がある。こうした課題を解決するため、仕事以外に交流できる場づくりを行い、地域外から来てくれた人の心の拠り所にしていきたい。
- ・まずは地域に住んでいる人たちが、自分たちの地元の良いところを知ることが大切だと思う。地元の取組を見たり体験したりすることで、若い人が就農してみたいと思うなど意外な化学反応が生まれることもある。豊かな自然や環境だけでなく、「地域の人にまた会いに来たい」と思ってもらえるように外の人材と地域の人をしっかりとつなぐことを重視したい。

【知事まとめ】

- ・岡山県外から来た方を柔軟に受け入れる地域が増えることで、県外の方にとって魅力的なだけでなく、岡山県の地域にも活力が生まれることにつながる。

- ・移住や二地域居住で県外から岡山県に来てくれた人と地域側で受け入れる人が、お互いに幸せになれるような岡山県を目指していきたい。